

玉川上水の自然を守り育てる

分水網と周辺の緑の保全・活用を含めて

6月17日（日）午後1時半～4時、武蔵野芸能劇場小ホール、主催：NPO法人市民まちづくり会議・むさしの、玉川上水を守り育てる武蔵野市民の会、武蔵野の森を育てる会 後援：19市民団体（武蔵野市後援）

市民による保全活動と環境教育、生き物の暮らしの様子と自然保護の考え方など、さまざまな側面から玉川上水の自然を守り育てる方法を学びました。核心に迫る質疑応答を経て、より良い状態で未来の子どもたちにつなぐための宣言文の採択で幕を閉じました。（参加者数：87人）

成蹊大学学生ボランティア本部Uni.の学生さんの司会により、主催者側からのクイズを交えた玉川上水の概要説明でスタートしました。続いて二人の講師から迫力ある写真投影を交えて講演をいただきました。

まず柴俊男氏（玉川上水の自然保護を考える会・会長）から、立川市砂川町で長年にわたって取り組んできた保全活動と環境教育、そして行政との協働についてお話いただきました。続いて成瀬翼氏（特定活動非営利法人NPObirth事務局、まるごと玉川上水かんさつ会・会長）が、玉川上水に生息する生き物の暮らし、雑木林等の周辺緑地をつなぐ回廊としての玉川上水の役割などを話されました。

休憩をはさんだ後半では、コメンテーターの中里崇亮氏（玉川上水を守り育てる武蔵野市民の会・会長）が武蔵野市における玉川上水・千川上水保全の歴史と自らの想いを報告し、質疑応答、参加者からの意見発信と続き、最後は宣言文を採択しました。

参加者アンケートの結果は、「満足」64%、「まあ満足」29%でした。次回、武蔵野市の緑の保全・活用を考えるシンポジウムの第3回（最終回）は、都市農地をテーマに開催します（8月19日（日）午後2～4時、武蔵野プレイス4階フォーラムにて）。



左から、中里氏、成瀬氏、柴氏、進行：田中



満席のシンポジウム会場

武蔵野の緑の保全と活用を目指す宣言 —第2回—

私たちは、玉川上水・分水網と周辺の緑の自然を守り育てるために、多くの市民や団体によるネットワークを広げるとともに行政と協働し、水と緑のまちづくりを進めます。

編集・発行（2018年7月）

- ・NPO法人市民まちづくり会議・むさしの TEL 080-3020-2995（理事長） HP <http://matimati.or.jp/>
Eメール matimati-info@matimati.or.jp
- ・玉川上水を守り育てる武蔵野市民の会 TEL 0422-51-0233（副会長） Eメール jlsyama@kvd.biglobe.ne.jp
- ・武蔵野の森を育てる会 TEL 090-5533-2316（代表） HP <http://mnomori.web.fc2.com/>
Eメール info.mnomori@gmail.com